

県内の遺跡・遺物 20

だいら アチャ平遺跡

所在地：新潟県岩船郡朝日村大字三面字アチャ平

遺跡は朝日連峰に源を発する三面川上流域の河岸段丘上にあり、縄文時代中期から後期(約4,000年前～3,500年前)の集落の跡が非常によく残っています。集落の大きさは直径約60mの円形で、中央の配石遺構のまわりを囲むように住居や建物が建てられていました。配石遺構と呼ばれるものは巨大な河原石を組んだり並べたりしたもので、お祈りやお祭りの施設あるいはお墓と推測されます。使われている石には重さ100kgを超えるものもあります。住居跡は40軒以上もあり、敷石住居と呼ばれる床に石を敷いた県内では珍しい住居跡が12軒も見つかっています。その他にも、乳幼児の墓と思われる100基以上の埋設土器や、土器捨て場と呼ばれる当時のごみ捨て場も発見されました。

また、約1,500点以上の石斧の製品や未製品が出土しています。ここで、石斧の大量生産が開始され、元屋敷遺跡に引き継がれて、さらにその規模は大きくなります。アチャ平遺跡を含めた奥三面遺跡群は、縄文時代の風景の見える遺跡として県内を代表する貴重なものとなりました。



環状配石から朝日岳を望む (文・写真 朝日村教育委員会 奥三面遺跡調査室)

あとかき

埋蔵文化財の調査は、発掘半分、整理半分。膨大な資料を整理しながら報告書にまとめあげることで、一連の調査がようやく完結する。その道のりは、北国の冬に似て長く厳しい。

今日もまた、根をつめた整理作業が黙々と続いている。桜の開花が待ち遠しい。(S)

埋文にいがた No.22

発行 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
〒956-0845 新津市金津93番地1
TEL (0250)25-3981
FAX (0250)25-3986
印刷 有限会社 双葉印刷